

⑤ 現代の家族やライフコースの特徴

キーワードは『多様化』

① 教科書の表やグラフを読み解こう！

() に適する数字を入れ、「人生90年時代」の家族やライフコースの特徴をつかもう。

(1) 高齢化

平均寿命の推移 ⑧ p. 61 1 男1947年50.1歳→2020年 (81.6) 歳
女 " 54.0歳→ " (87.7) 歳

(2) 少子化

合計特殊出生率の低下 ⑧ p. 21 2 1947年 4.54 →2019年 (1.36)

(3) 晩婚化

平均初婚年齢の推移 ⑧ p. 20 1 男1950年25.9歳→2018年 (31.1) 歳
女 " 23.0歳→ " (29.4) 歳

(4) 家族(世帯)規模の縮小

平均世帯人数 ⑧ p. 24 3 1950年4.97人→2015年 (2.33) 人

(5) 1人暮らしの増加・大家族世帯の減少

単独世帯の割合 ⑧ p. 24 1 1990年23.1%→2015年 (34.6) %
その他の親族世帯の割合 " 1990年17.2%→2015年 (8.6) %

(6) 共働き夫婦の増加

共働き世帯数の推移 ⑧ p. 30 1 1980年614万世帯→2019年 (1,245) 万世帯
(1992) 年に共働き世帯が、専業主婦世帯を上回る

② さまざまなライフスタイルの例として、次の言葉を説明しよう。

- ・事実婚…… (婚姻届を提出せずに事実上夫婦として共同生活を送ること。)
- ・ステップファミリー…… (前の結婚でできた子を連れて再婚することによって出来る家族。)
- ・ディンクス (DINKS) …… (共働きで子どもがいない夫婦。)

③ 小説や漫画、映画やドラマなどから、興味深いと思ったライフスタイルを選び、友達に紹介しよう。

タイトル『 _____ 』 作者名 (_____)

○登場人物の人間関係図 _____

○どのような点を興味深いと思ったか? _____

⑦ 家庭の機能の変化

1950年代



現代（2010年代）



① 産業構造の変化（教p. 24[2]）と平均世帯人員の減少（教p. 24[3]）には、どのような関連があるか、考えよう。

第（ 1 ）次産業の割合が急激に減り第（ 3 ）次産業が増加した1960～80年代に、平均世帯人数が（ 4. 14 ）人から（ 3. 22 ）人に減少している。

第（ 1 ）次産業が中心の社会では、家業（主に農業）を維持するために労働力としての子どもや大家族が同居する必要もあった。第（ 3 ）次産業が中心の社会では、都市に人口が流出して雇用者（サラリーマン）を中心とする核家族の形態が増え、子どもの数も減少した。

② 次の家庭の機能のうち、大切と思う順に〔 〕内に順位をつけよう。各自記入

		自分の考え	クラスの意見
A	生産機能（家族が必要とする物やサービスをつくる場）	〔 〕	〔 〕
B	消費機能（物やサービスを消費する場）	〔 〕	〔 〕
C	子育ての機能（生命を生み育てる場）	〔 〕	〔 〕
D	福祉機能（家族の扶養や高齢者の介護の場）	〔 〕	〔 〕
E	教育的・文化的機能（文化を伝え、教育する場）	〔 〕	〔 〕
F	情緒面の機能（愛情の充足や心理的な安定の場）	〔 〕	〔 〕

Q あなたが最も大切だと思う機能はどれだと思うか？

Q 現代の家庭で最も低下している機能はどれだと思うか？

Q 家族だけが持つ機能として、最後まで家庭に残る機能は？

③ 近代産業が発展するまで、人々は家庭の中で、生活に必要な物資を生産し、子どもを養育してきた。産業の発展により、家庭は「生産」の機能を大きく外部に移し、「教育」「福祉」などの機能も、専門化した組織や公的機関に移行されるようになった。

こうした変化を、（ 家庭機能の外部化 ）とよぶ。

家庭の機能	外部化した具体例	プラス面は？
衣食住の生産	外食、クリーニング、そうじ代行、	専門性が高い（プロの仕事）、 便利で楽、自由時間が作れる
子育て・教育	塾、学校、保育園、	マイナス面は？
冠婚葬祭	ブライダル産業、葬儀会社、	お金がかかる、生活技術を身につけられない、安全 性の心配、家庭の文化・風習がなくなる、家族の一 員としての責任や協力が薄れる
介護・看護	ホームヘルパー、老人ホーム、	
その他	警察、ホームセキュリティー	

第1章 自分らしい人生をつくる

●家庭基礎：p.26-27

⑧ 家族に関する法律クイズ

① 次の文章を読み、正しいと思うものには○印、間違っていると思うものには×印をつけよう。

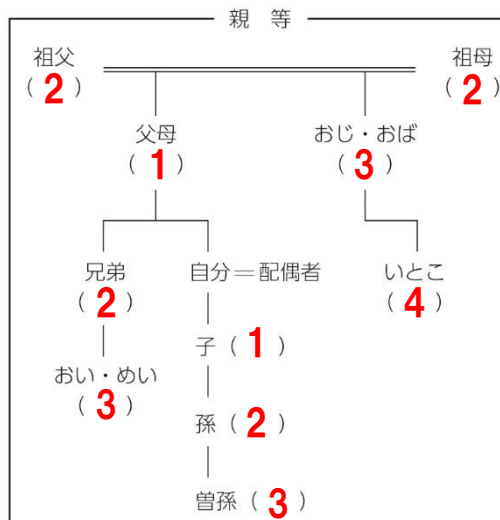
- ① (○) 礼子と純一は、共に満18歳、2人とも学生だが結婚できる。
- ② (○) 礼子と純一の同じ年の友達は、2人の結婚の証人になれる。
- ③ (×) 江戸時代には複数の妻を持つ大名がたくさんいた。今だって、合意があれば、何人でも妻を持つことができる。
- ④ (×) 友香は、結婚しても仕事を続けるつもり。結婚後名字を変えたくない。夫も妻も別々の姓を名乗ることは、法律的に認められている。
- ⑤ (○) 絵里子の夫の保が突然、夫婦で使っていた車を買替えると言い出した。絵里子は反対だが、保は「結婚前に俺の買った車だから俺のもの。俺の好きにする」と言う。彼の言うように、車は彼のものである。
- ⑥ (×) 健太と亜紀はいとこどうしである。親族なので結婚できない。
- ⑦ (×) 絵里子と保は別居を始め、1年後に話し合い(協議)により離婚することになった。結婚するときには証人がいるが、離婚するときには証人はいない。
- ⑧ (×) 絵里子が夫と離婚して2か月たった。夫と1年前から別居していたので、新しい夫とすぐに結婚できる。
- ⑨ (○) 絵里子は結婚したときに夫の姓に変えた。しかし、再婚の予定もあり、何度も姓を変えるのは面倒だと思っている。離婚後も、前の夫の姓を使える。
- ⑩ (×) 絵里子と保には、5歳の娘がいる。離婚後も、娘の親権は2人に与えられる。

② 言葉を確認しよう。

- ・ (血族) … 血縁で結ばれた関係の人たち
- ・ (婚族) … 婚姻により親族となった人たち
- ・ (配偶者) … 結婚した相手の人
- ・ (嫡出子) … 法律上婚姻関係にある男女から生まれた子ども
- ・ (非嫡出子) … 嫡出でない子ども
- ・ (扶養) … 助け養うこと。生活の面倒をみること
- ・ (親権) … 親として子の監護と教育、財産管理の権利と義務を負うこと

☆親族の範囲・・・ (6) 親等内の血族
 (3) 親等内の姻族
 (配偶者)

③ 下図に親等を記入してみよう。



⑨ 家族に関わる法律クイズ 解説編

●家庭基礎：p.26-27

【日本国憲法（ 24 ）条】 婚姻は、（ 両性の合意 ）のみに基づいて成立し、夫婦が（ 同等 ）の権利を有することを基本として、相互の（ 協力 ）により維持されなければならない。
配偶者の選択、財産権、相続、住居の選定、婚姻及び家族に関するその他の事項に関して法律は、個人の（ 尊厳 ）と両性の（ 本質的平等 ）に立脚して制定されなければならない。

→家族に関する法律は、主に民法で定められている。その基礎には日本国憲法がある。

①	○	民法 731 条	[婚姻適齢] 婚姻は、18 歳にならなければ、することができない。
②	○	民法 739 条	[婚姻届] 婚姻を届けるには（ 成年 ）2 人の証人が必要である。
③	×	民法 732 条	[重婚の禁止] 配偶者のある者は、重ねて婚姻することができない。
④	×	民法 750 条	[夫婦の氏] 夫婦はどちらか一方の姓にしなければならない。
⑤	○	民法 762 条	[夫婦別財産制] 婚姻前・婚姻中に自己の名で得た財産は、それぞれ個有の財産である。
⑥	×	民法 734 条	[近親者間の婚姻の禁止] 直系血族と（ 3 ）親等内の傍系血族の間は婚姻できない。
⑦	×	民法 763 条 民法 764 条	[協議上の離婚] 夫婦は（ 協議 ）により離婚することができる。 [離婚届] 離婚を届けるには成人 2 人の証人が必要である。（協議離婚のみ）
⑧	×	民法 733 条	[再婚禁止期間] 女性は婚姻解消後（ 100 ）日を経過しなければ再婚できない。
⑨	○	民法 767 条	[離婚後の氏] 婚姻によって氏を改めた夫または妻は、協議上の離婚によって婚姻前の氏に復する。ただし、離婚の日から（ 3 ）ヶ月以内に届けることにより、婚姻中の氏を使うことができる。
⑩	×	民法 819 条	[単独親権] 日本では、離婚時に一方の親にのみ親権が与えられる。

民法 752 条 夫婦は（ 同居 ）・（ 協力 ）・（ 扶助 ）の義務を負う。

★（ 協議 ）離婚＝当事者双方の合意による。

★調停・審判・裁判離婚＝家庭裁判所の手続きによる。

※約 9 割が協議離婚である。

※子がいる夫婦の場合は、子の親権者を父母いずれかに定めないと離婚できない。

第1章 自分らしい人生をつくる

⑪ 見直される性別役割分業意識

●家庭基礎：p. 28-29

① なぜ、男女の生活時間に偏りがあるのか？

・性別役割分業意識とは……

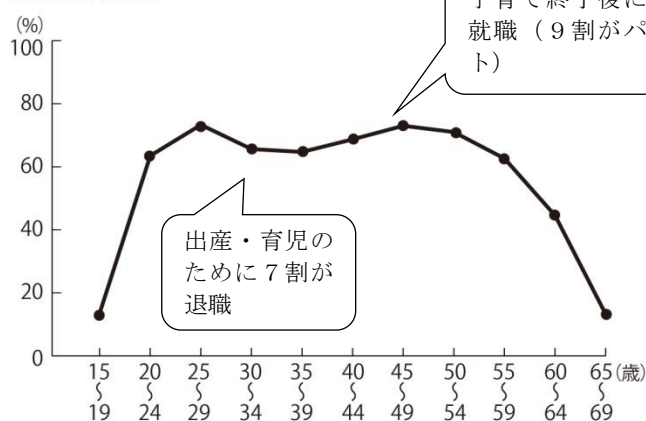
男は仕事、女は家事・育児という考え方。

・歴史的背景……1960年代以降、この意識が高まり、「サラリーマンの夫」が外で働き、「専業主婦の妻」が家庭を守り支えることで、日本の高度経済成長期を支えてきた。

② 性別役割分業意識は、女性の働き方にどのような影響を与えているか？

・女性の労働力率のM字型雇用 (教 p. 29 [5] [6])

女性の労働力率



(総務省「世界の統計」2015年)

この働き方が、女性にもたらす問題点は何か考えよう。

1. 男性より (昇進) しにくい (仕事のチャンスやスキルアップの場を与えられにくい) *1
2. 男性より給料が (低い) *2
3. (非正規) 雇用になりやすい*3

○男女平等格差指数 (政治・経済・教育・健康) 世界 (120) 位。高い教育を受けている日本の女性が、政治や経済の場で活躍しきれていない。

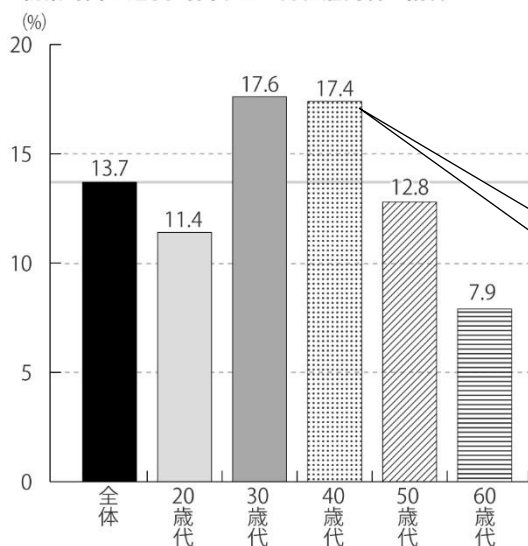
*1: 指導書 p. 45 資料② *2: 指導書 p. 45 資料③

*3: 指導書 p. 45 資料④

③ 性別役割分業意識は、男性の働き方にどのような影響を与えているか？

・男性の長時間労働 (教 p. 29 [4])

就業時間が週60時間以上の男性雇用者の割合



(内閣府「少子化社会対策白書」2014年)

この働き方が、男性にもたらす問題点は何か考えよう。

1. 家事・育児や趣味・休養の時間がとれない
2. 働き過ぎが原因の精神障害や (過労死)
3. 40~60歳代男性の精神障害や (自殺者)

30~40代の働き盛り (=子育て世代) の男性が長時間労働

「働きたいのに働けない女性 (非正規社員)」と「働き過ぎの男性 (正社員)」のアンバランス

・性別役割分業意識を見直し、男女ともに仕事と家庭的責任 (家事・育児・介護など) を持つ必要がある

① 自分の発達を振り返る

このページは、各自振り返ったり、家族に聞いたりして、まとめておいてください。

自分が乳幼児だった頃の事を家族やその頃世話していた人に聞いてみよう。

<p>私が誕生したとき</p> <p>身長()cm</p> <p>体重()kg</p> <p>(誕生時の平均身長50cm, 平均体重3kg)</p> <p>誕生のときのエピソード</p>	<p>寝返り</p> <p>お座り</p> <p>はいはい</p> <p>つかまり立ち</p> <p>伝い歩き</p>	<p>ひとりで歩いたのは?</p> <p>(歳 か月)頃</p> <p>歩き始めた頃のエピソード</p>
<p>ひとり遊び</p> <p>傍観遊び</p> <p>平行遊び</p> <p>ごっこ遊び</p> <p>共同遊び</p> <p>集団遊び</p>	<p>2歳の頃好きだった遊びは?</p> <p>よく遊んだ場所は?</p>	<p>最初に話した言葉は?</p> <p>()</p> <p>話し始めた頃のエピソード</p>
<p>4・5歳の頃よく遊んでいた友達は?好きだった遊びは?</p>	<p>幼児期の一番の思い出は?</p> <p>(幼稚園や保育園でのエピソード, 病気や怪我の経験など)</p>	

子どもと共に育つ (1)

生命の誕生 (資料集 P.18, 20, 21)

(ア) 生命の誕生について、次の空欄に当てはまる語句を下の語群から選び、記入してみよう。

A 卵子と精子：私たちのからだを構成している細胞は、体細胞と生殖細胞に分けられる。体細胞はその人自身の生命活動をこなす細胞で、生殖細胞は次の世代の生命を生み出す細胞である。女性の生殖細胞である(① 卵子)は卵巣でつくられ、男性の生殖細胞である(② 精子)は精巣でつくられる。

B 受精：腔の中に射出された精子は、子宮を通過して(③ 卵管)へと移動し、卵子と出会い、結合する。これを(④ 受精)といい、この瞬間に新しい生命が芽生える。

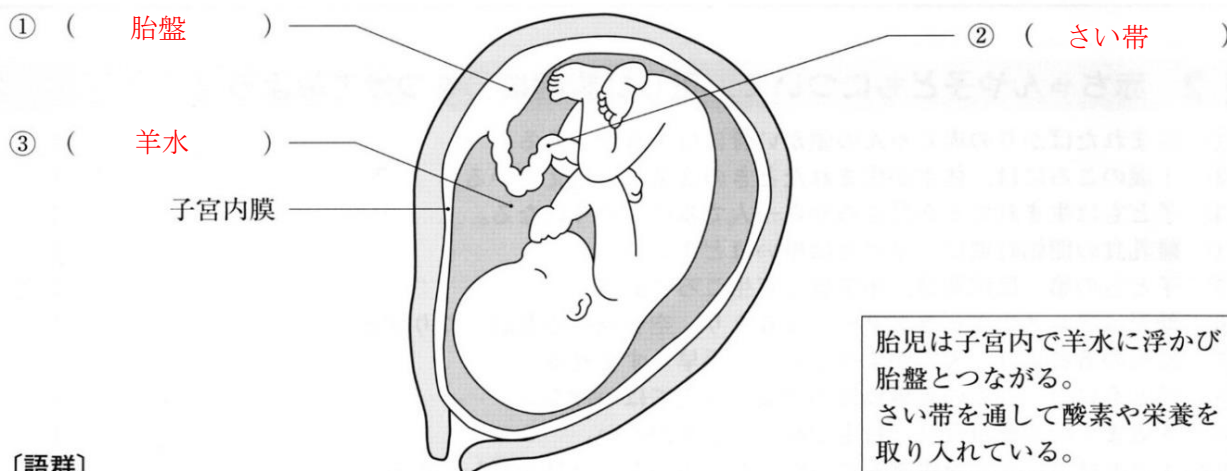
C 妊娠の成立：受精卵は、卵管を通過して子宮へと運ばれ、栄養と酸素が貯えられた(⑤ 子宮内膜)の中に入り込む。そして、受精の約10日後に、そこに定着する。これを(⑥ 着床)という。妊娠が成立すると、(⑦ 胎盤)から出るホルモンの働きによって(⑧ 月経)の休止、(⑨ 基礎体温)の上昇など、母胎には様々な変化が現れる。

出産予定日は、最終月経から数えて(⑩ 280)日＝(⑪ 40)週目としている。妊娠が判明したら、(⑫ 妊娠届)を市区町村に提出し、(⑬ 母子健康手帳)の交付を受ける。

〔語群〕

卵子 精子 子宮内膜 月経 着床 卵管 280 40 母子健康手帳 基礎体温
胎盤 受精 妊娠届

(イ) 次の図は子宮内の胎児の様子である。それぞれの名称を記入してみよう。



〔語群〕

さい帯 羊水 胎盤

NOTE

① 妊娠中に悪影響をおよぼす主なもの？

(アルコール摂取) → 胎児性アルコール症候群, (喫煙) → 低出生体重児

② 基礎体温とは？

いつ計る？ (毎朝、起床前), (婦人(基礎)) 体温計で測定。

③ マタニティマークとは？

(厚生労働) 省が発表。(妊産婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲が妊産婦への配慮を示しやすくするもの)

子どもと共に育つ (2)

①子どもの育つ力を知る(教 p36~43)

学習のポイント 子どもが生まれつき持っている能力を知り、身体と心の発達について学ぼう。

1 新生児期について、まとめよう。(知)

(1) 次の言葉を説明しよう。

- ①生後1週間、体重が1割ほど減少すること。その後増加する。 (生理的体重減少)
- ②生後3,4日から皮膚が黄色になる現象。1~2週間で消失。 (生理的黄疸)
- ③生まれつき持っている、刺激に対する反射的な反応。 (原始反射)

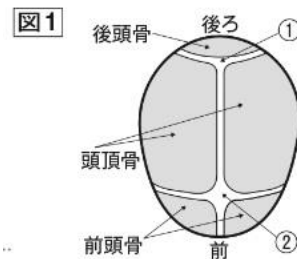
(2) 次の文章が説明している、原始反射の種類を答えよう。

- ①大きな音などに両腕を広げ、抱きつくような動作をする。 (モロー) 反射
- ②口に触れた物に吸い付く。 (吸い付き(吸てつ)) 反射
- ③手のひらに触れた物をつかむ。 (把握) 反射

2 新生児の頭蓋骨合について、まとめよう。(知)

(1) 図1の①②の名称を答えよう。

- ①(小泉門) ②(大泉門)



3 運動能力の発達について、まとめよう。(知)(思)











(1) 運動能力の発達の方向について、空欄に当てはまる言葉を答えよう。また、対応する矢印を下図に書き入れよう。

- ・頭から肩へ、肩から腰へという、①(頭部)から臀部への方向。
- ・肩から腕、腕から手首へ、太ももから足首へ、という②(中心部)から③(末端部)への方向。
- ・④(全体的)な動きから⑤(細かい)運動へという順序。



(2) 粗大運動と微細運動について、発達の順序に合わせて選択肢を並び替え、記号で答えよう。


	粗大運動	微細運動
発達の順序	(イ) → (ア) → (オ) → (エ) → (ウ)	(ク) → (カ) → (コ) → (キ) → (ケ)


選択肢	ア はいはいをする 	イ 寝返りをする 	ウ スキップができる 	エ 両足をそろえてとぶ 	オ 伝い歩きをする 
	カ 指で物をつまむ 	キ スプーンで食べようとする 	ク 物を握って振る 	ケ クレヨンで○を描く 	コ 積み木を積む 

4乳幼児の言葉の発達について、次の文章の空欄に当てはまる言葉や数字を答えよう。(知)

生まれてから1か頃までは、①(**泣く**)ことによつてのみ空腹や痛みなどを表現するが、その後、「ア〜」「ブ〜」というような②(**喃語**)とよばれる音を発し始める。大人が子どもとのやりとりの中でたくさん③(**話しかける**) ことによつて子どもは言葉を獲得し、④(**1**)歳頃には初めて意味のある言葉を発するようになる。1歳頃には「マンマ」などの⑤(**一語文**)で「おなかがすいた」「牛乳が飲みたい」など、さまざまな意味を表す。やがて1歳半過ぎには「マンマ ほしい」など、2つの単語を組み合わせる⑥(**二語文**)、2歳以降には三語文以上へと発達し、⑦(**3 ~ 4**)歳頃には日常会話がほぼできるようになる。

5幼児の物事の捉え方について、特徴とその説明、具体例を線で結ぼう。(知)

特徴	説明	具体例
①視点の自己中心性	何でも生きているように考える。	
②アニミズム	同じ数量のものでも、見かけが違つたと数量も違つと考える。	
③視覚的イメージに左右される	物事を自分の視点で考え、他者の立場で考えることが難しい。	



6遊びの発達について、まとめよう。(知)

(1) 遊びと子どもの発達について、次の表の空欄に当てはまる言葉を答えよう。

遊び相手	年齢の目安	遊び方や遊びの内容	
ひとり遊び	0~1歳	④(身体)の動きや刺激の⑤(知覚)を楽しむ。	
①(傍観)遊び	2歳前後	他の子どもに関心はあるがそばで見ている。	おもちゃを何かに見立てたり、誰かのつもりになる (⑥ ごっこ遊び)を楽しむ。
②(平行)遊び		隣どうしで同じ遊びを別々にする。	
仲よし2人 気の合う友達 2,3人	3~4歳前後	<ul style="list-style-type: none"> ・物の製作や組み立てる遊びを楽しむ。 ・友達と役割を決めた(⑥)を楽しむ。 ・⑦(けんか)を経験することで、友達との遊び方を身につけていく。 	
③(集団)遊び	5,6歳頃	<ul style="list-style-type: none"> ・⑧(役割分担)をしながら集団で力を合わせて遊ぶ。 ・⑨(ルール)を守って遊ぶ。 	

(2) 遊びの3つの条件を挙げよう。

- ①(**場所**) ②(**仲間**) ③(**時間**)

子どもと共に育つ (3)

②親として共に育つ(教 p44~47)

学習のポイント	子どもが成長していくのに、親や周りの大人からの関わりが重要であることを知り、保育者としての関わり方を学ぼう。また、子育てが保育者の成長にもつながることに気づこう。
---------	---

1生活習慣の形成について、まとめよう。(知)(思)

(1) 基本的な生活習慣を5つ答えよう。

- ①(食事) ②(排泄) ③(衣服の着脱)
④(清潔) ⑤(睡眠)

(2) 集団での生活を円滑にするために身につける、社会的な生活習慣の例を3つ答えよう。

挨拶をする	順番やルールを守る	友達と協力する
-------	-----------	---------

2乳汁栄養について、まとめよう。(知)

(1) 乳汁栄養の種類を3つ答えよう。

母乳栄養	人工栄養	混合栄養
------	------	------

(2) 母乳の利点を3つ答えよう。

消化吸収がよい	免疫物質を含んでいるので病気になりにくい	アレルギーを起こしにくい
---------	----------------------	--------------

3子どもの食生活について、まとめよう。(知)(思)

(1) 離乳食は何のために必要か、理由を答えよう。

必要な栄養の確保、かむことを覚える、家庭の食生活に適応

(2) 幼児食とはどのような食べ物か、答えよう。

食べやすいように、かたさや大きさに配慮して調理された食べ物。

(3) 幼児にとって間食(おやつ)が必要である理由を答えよう。

栄養を補うため。

4幼児の被服について、正しいものには○を、間違っているものには×を付けよう。(知)(思)

- (1) 子どもは活発に動き回るため、大きさにゆとりがあり、動きやすいものがよい。 (○)
 (2) 子どもの好みを尊重するため、デザイン性やファッション性を重視したものがよい。 (×)
 (3) 首元を冷やさないよう、襟付きのものや襟あきが狭いものを選ぶとよい。 (×)
 (4) 結ぶ際に手指の発達にもつながるので、首回りに紐が付いた服を選ぶようにする。 (×)
 (5) 体温調節機能が不十分なため、夏は通気性、冬は保温性に富むものがよい。 (○)

5 子育てのように思いどおりにならない経験をするとは、人間としてのどのような成長につながるか、考えよう。(思)

視野が広がる、考え方が柔軟になる。
自分ではどうしようもないものを受け入れる気持ち。
自分のコントロールが及ぶ範囲の限界を知る気持ち。

6 夫婦での子育てについて、考えよう。(知)(思)

(1) p48 1、2、4 を参考にして、次の文章の空欄に当てはまる言葉を答えよう。

6歳未満児のいる家庭において、日本は夫の①(家事)関連時間全体が1日あたり

②(1時間23分)と欧米諸国と比べて少なく、育児時間も③(49)分と非常に短い。

日本における育児休業取得者の割合を見ると、2019年度で女性は④(83.0)%, 男性は⑤(7.48)%である。

女性の大半が取得している一方で、男性の育児休業の取得率は非常に⑥(低い)。

(2) 日本の夫の育児時間が短い原因を考えよう。【参考にしよう→教p29の図や表】

労働時間、父親自身の意識、性別役割分業意識

7 次の法律で定められている内容を選択肢から全て選び、記号で答えよう。(知)

①母子保健法(エ) ②労働基準法(アウカ) ③育児・介護休業法(イオ)

選肢	ア 産前・産後休業の取得が可能	イ 育児休業の取得が可能
	ウ 妊産婦等の危険有害業務の就業制限	エ 母子健康手帳の交付
	オ 子の看護休暇を年5回保障	カ 「育児時間」を認める(1日:30分を計2回)

子どもと共に育つ (4)

④これからの保育環境(教 p54~57)

学習のポイント	現代の保育環境の問題点に気づき、親として、また子どもの発達を見守る社会の一員として、子どもの権利・福祉と地域社会の関わりについて学習しよう。
---------	--

1 現代の子育て環境について、考えよう。(知)(思)

(1) 次のような社会通念が、育児不安の一因とされている。その内容を読み、科学的根拠があれば○、なければ×を入れよう。

社会通念	内容	科学的根拠の有無
母性神話	女性は母性愛を本能として持っており(母性本能)、母親が育児をすることが子どもにとって善・絶対であるという考え方。	① ×
3歳児神話	3歳までは母親の手で育てないと、後々取り返しがつかないダメージを子どもに与えるという考え方。	② ×

2 保育所、幼稚園、認定こども園について、空欄に当てはまる言葉や数字を答えよう。(知)

	保育所	認定こども園	幼稚園
対象	保育を必要とする乳幼児	保育を必要とする乳幼児・保護者の希望による	保護者の希望による
年齢	①(0)歳~②(就学前)の乳幼児		満③(3)歳~④(就学)までの幼児
保育者	⑤(保育士)	保育士・保育教諭・幼稚園教諭	⑥(幼稚園教諭)
教育および保育時間	原則⑦(8)時間 (+延長保育*)	4時間・8時間 (+延長保育など*)	標準⑧(4)時間 (+預かり保育*)
入園手続き	設置者と契約(私立保育所の場合は市町村)		
保育料	施設の設置者(私立保育所の場合は市町村)が徴収		
性格	⑨(児童福祉施設)	児童福祉施設・学校教育機関	⑩(学校教育機関)
管轄	⑪(厚生労働省)	内閣府・厚生労働省・文部科学省	⑫(文部科学省)
法律	⑬(児童福祉法)	就学前保育等推進法(略称)	⑭(学校教育法)

* 園によって異なる。(注)上記以外に、保育所より少人数の単位で、0~2歳児を保育する事業(地域型保育)がある。

3 子育て支援について、まとめよう。(知)

(1) 次の文章の空欄に当てはまる言葉を答えよう。

①(核家族)化、少子化に伴って、最近では②(地域)全体で子育てを支援する試みが進んでいる。保育所や幼稚園、③(児童館)、④(子育て支援センター)などは、地域の子どものための遊び場や⑤(友達)づくりの機会など、子どもを育むための⑥(環境)整備に取り組むとともに、親の⑦(育児相談)や子育て情報の提供、⑧(子育てサークル)づくりなども支援している。育児経験の少ない親にとっては、⑨(学び)の場でもある。

(2) 一時的な保育ニーズに対応するため、子どもを預けたい親と預かりたい人とが相互に登録し、助け合う制度が普及している。この制度の名称を答えよう。

(ファミリー・サポート)制度


1、DVD 鑑賞 ※ 重要な言葉をメモしましょう！

7、生命の誕生
8、赤ちゃんの能力
9、子どもの心身の発達

2、保育人形を使った実習

(1) 赤ちゃんを抱っこときの注意点

- ① (爪) を短く切る
 - ・・・赤ちゃんの皮膚は大人の2分の1の薄さです。
- ② (声) かけをしてあげる
 - ・・・黙ったままだと赤ちゃんも不安になってしまいます
- ③ (頭) をしっかりささえる
 - ・・・赤ちゃんは首がすわっていません。
- ④ 体を (密着) させる
 - ・・・安定するので、安心して落ち着きます。



(2) 実習の振り返り A (よくできた)・B (だいたいできた)・C (改善点あり)

① 身なりが清潔である (爪が短く切っている等).....	A	B	C
② 赤ちゃんの体の特徴を理解できた.....	A	B	C
③ (1) をふまえて実習をことができた.....	A	B	C

(3) 実習の感想・わかったこと ※なるべくたくさん書きましょう。

.....

.....

.....

.....

第1章 自分らしい人生をつくる

重要ワード CHECK!

次の文章が説明している言葉を答えよう。

1	乳幼児期、児童期、青年期、壮年期、高齢期などの、 ^{だれ} 誰にも共通する発達の段階。	発達段階（ライフステージ）
2	自立のうち、人との関わりにおいて合意を形成したり、人間関係を調整したりすることができること。	社会的自立
3	1人の女性が一生の間に生む平均子ども数。	合計特殊出生率
4	出生率が低下し、子どもの数が減少すること。	少子化
5	個人がさまざまな出来事を経験しながらたどる生涯の道。	ライフコース
6	配偶者や恋人など親密な関係にある（またはあった）者が暴力を振るうこと。	ドメスティック・バイオレンス
7	人の生活の仕方や人生の過ごし方。	ライフスタイル
8	人間としての基本的な生活習慣を身につける出生家族から独立し、自らの意思で築いていく家族のこと。	創設家族
9	人間が生きていくための日常生活の場とそこで営まれている生活全体。	家庭
10	「住居と生計を共にしている人々の集まり」または「一戸を構えて住んでいる単身者」など。	世帯
11	「夫婦のみ」「夫婦と未婚の子ども」「男親と子ども」「女親と子ども」で構成される親族世帯。	核家族世帯
12	子どもが成人するまでの子の監護と教育、財産管理の権利と義務。	親権
13	報酬が支払われる労働。	有償労働（ペイドワーク）
14	報酬が支払われない労働。	無償労働（アンペイドワーク）
15	「男は仕事、女は家事・育児」という意識。	性別役割分業意識
16	生物学的な性別に対して、社会的・文化的に形成される性別。	ジェンダー
17	国連の女子差別撤廃条約批准 ^{ひじゅん} を受けて、1986年に日本で施行された法律。	男女雇用機会均等法
18	日本の女性の年齢別労働力率のグラフに見られる、特徴的な曲線の名称。	M字型曲線
19	社会のあらゆる分野の活動に男女が対等に参画することを目指して、1999年に制定された法律。	男女共同参画社会基本法
20	仕事と生活の調和。	ワーク・ライフ・バランス

第2章 子どもと共に育つ

重要ワード **CHECK!**

次の文章が説明している言葉を答えよう。

1	生まれつき持っている、刺激に対する反射的な反応。	原始反射
2	生後3、4日から皮膚が黄色になる現象。	生理的黄疸
3	誕生から4週間までの時期。	新生児期
4	原始反射のうち、大きな音などに両腕を広げ、抱きつくような動作をする反射。	モロー反射
5	原始反射のうち、手のひらに触れた物をつかむ反射。	把握反射
6	乳児が出す「ア～」「ブ～」などの音。	喃語
7	信頼感を基礎にした特定の相手との心のきずな。	愛着（アタッチメント）
8	幼児がかんしゃくを起こしたり、「いや」「だめ」を繰り返したりする時期。	第1反抗期
9	こま回しやお手玉など、年長児から年少児へ、大人から子どもへと受け継がれてきた遊び。	伝承遊び
10	イメージ能力を使い、おもちゃや物を何かに見立てたり、誰かのつもりになったりする遊び。	ごっこ遊び
11	視覚に障がいのある子ども遊べる玩具に付くマーク。	盲導犬マーク
12	安全基準を満たすと認定されたおもちゃに付けられているマーク。	ST マーク
13	食事、排泄、 ^{はいせつ} 衣服の着脱、清潔、睡眠に関する習慣。	基本的な生活習慣
14	乳汁栄養のうち、母乳栄養と人工栄養を併用すること。	混合栄養
15	他人が吸ったタバコの煙を自分の意志にかかわらず、吸わされてしまうこと。	受動喫煙
16	伝染病の発生と蔓延 ^{まんえん} の予防のためにワクチンを注射すること。	予防接種
17	家庭で行う保育に対して、大勢の子どもを対象にする保育。	集団保育
18	就学前の子どもに幼児教育と保育の両方を提供し、地域における子育て支援事業を行う施設。	認定こども園
19	子どもが生存と発達を保障され、不当な取り扱いから保護され、自分らしく生きる基本的人権を実現するために国連で採択された条約。	児童の権利に関する条約 （子どもの権利条約）
20	2000年に制定された児童虐待 ^{いか} に関わる法律。	児童虐待防止法